

おもいやり通信

発行：社会福祉法人 清水保育園
幼保連携型認定こども園 清水こども園
発行日：令和8年1月15日

第55号



令和8年、午年がスタートしました。今年は60年ぶりの「丙午」です。

「火」と「馬」の組み合わせは、勢いと突破力を象徴します。

今年も思いやりと笑顔がいっぱいの家庭、園、地域を目指して、みんなで力を合わせて頑張っていきましょう。

思いやり3原則「手伝う・励ます・ありがとう」の実践が幸せへの近道だと思います。

相手の気持ちを察し、さりげなく手伝い、励まし、感謝することが出来る、そんな素敵な子どもたちに育って行ってほしいですね！



今年度のメイン活動

テーマ

<おもいやりカードづくり>

6月「てつだう」 11月「はげます」 2月「ありがとう」

《思いやりカード》

家庭から提出された思いやりパーツカード(4枚:保護者提出は3枚・1枚は担当で記入)を使って、個人の「思いやりカード」を作り年度末にプレゼントします。ハートの形のカードを使用し、4つ葉のクローバの形に貼り合わせていきます。

ご家庭へのお願い

思いやり集会の日に各家庭にカードを配布します。

自分のお子様に対しての6月「てつだう」、11月「はげます」、2月「ありがとう」をテーマにしたメッセージをカードに記入して1週間の間に提出していただきます。

「ほめて伸ばす」メリットは？

自己肯定感が高まる



チャレンジ精神が育つ



きつとうまくいく!



自主性が育つ



『励ます』という言葉を知ると「がんばれ!」と応援する言葉をイメージしますよね。けれど、励ますという言葉の意味には、「褒める」「認める」という意味も含まれます。「～できてがんばったね!」「～してくれて、ありがとう!」「あなたなら、大丈夫!」そんな言葉にたくさんパワーをもらって、次も頑張ろう!わたしなら、できる!チャレンジしてみよう!という気持ちが育れます。そして、頑張っているお子さんを時にはぎゅ～っと抱きしめてあげてくださいね♡きっと笑顔のパワーをお子様からもらえ、パパとママも元気になるですよ!!

令和7年度 第2回思いやり集会を開催

思いやり集会で「はげます」について考えました

令和7年12月9日(月)に今年度2回目の思いやり集会を行いました。

園長先生の話の後、思いやりテーマソング「おもいやりのうた」を歌い、各クラスから思いやり3原則の一つ「励ます」について発表等を行いました。

その後、職員による思いやりペープサート劇「ねずみくんのチョコキ」が上演され、会場は笑顔に包まれました。

集会終了後は、各クラスで11月のテーマは、「はげます」について子どもたちと考えました。

※各クラスの様子は裏面をご覧ください。



真剣に集会に参加するこどもたち



ねずみくんに扮した園長先生

ぞう組が田名合唱祭で「OMOIYARI のうた」を歌いました

12月6日(土)午後1時30分から田名公民館において、田名地区社会福祉協議会主催による「田名合唱祭」が、世代間及び地域の人々の交流と音楽を通じての楽しい街づくりを推進することを目的として開催されました。

当園にも参加のお誘いがあり、ぞう組が参加し「あおいそらにえをかこう」と「OMOIYARI のうた」の2曲を立派に披露してきました。

「OMOIYARI のうた」が始まると会場内はシーンと静まり温かい空気に包まれました。観覧者からは「とても良かった、感動した」との声が上がっていました。

ぞう組さん、ありがとうございました。



各クラスの「はげます」についての紹介



<ひよこ組0歳児>

何かで泣いていると、心配そうに顔を見ながら頭を撫でたり、「大丈夫だよ」という表情で頭を撫でてあげる姿が見られるようになりました。少しずつお友達に対して、思いやりの気持ちが育ってきています。その気持ちを大切に、思いやりの気持ちを育んでいきたいです。

<ひよこ組1歳児>

今回のテーマは、励ますでした。励ますについて伝える事、理解する事は難しいかもしれませんが、実際、日々の園生活の中で、沢山の励ます行動が見られます。お友だちや先生を「大丈夫？」と気に掛けてくれたり、「出来たね。」と一緒に喜んでくれたり、相手を思うからこそ言葉が沢山聞かれるようになってきました。又、言葉で伝える手段だけでなく、頭を撫でて慰めたり、手を引いて誘い掛けたり等も立派な励ます行動で、毎日、心が満たされます。今後も、して貰って嬉しかった事、されて悲しかった事等をその時々で伝えて、一緒に考えながら、担任も子ども達と一緒に、更に思いやりの心を育んでいきたいと思います。

<りす組>

お友達が困っている時や、転んでしまって泣いている時など「だいじょうぶ？」と優しく声を掛けてくれる姿が見られる様になりました。「どうしたの？」「なにかあった？」などただ声を掛けてくれるだけではなく理由も含めて一緒に聞いてくれます。優しく声を掛ける姿やお友達が困って居たら助けてくれる姿をたくさん見つけ、その都度子ども達に「ありがとう」の気持ちを伝えていき、思いやりの心を一緒に育てていきたいと思います。

<うさぎ組>

発表会や運動会を通して、友達の頑張りをたくさん褒めてくれるようになりました。お友達や先生たちの良いところをすぐに見つけて声を掛けてくれる『励ます名人』がいっぱいいるクラスです。自分が言われて嬉しい言葉をたくさん言って、ふわふわ言葉で溢れるクラスになっていってほしいなと思います。

<くま組>

お友達や先生の表情・様子にすぐに気付いて、「大丈夫？」と優しく声を掛けてくれる子ども達。友達の気持ちを聞いた後、「平気だよ！」「一緒にやってみようよ！」と自然に声を掛けて、励ましてくれるようになりました。上手くいかなかった時も、「次は出来るかもしれないよ！」と友達の思いに寄り添いながら言葉を掛けてくれる様子が…。少しずつ、どうしたら良いのか、友達はどうな気持ちでいるのかを自分で考えて行動する事が出来るようになっていきます。皆の思いやりや優しさの気持ちがこれからもぐんぐん膨らみ、温かさがいっぱいのクラスになっていけばと思います。

<ぞうぐみ>

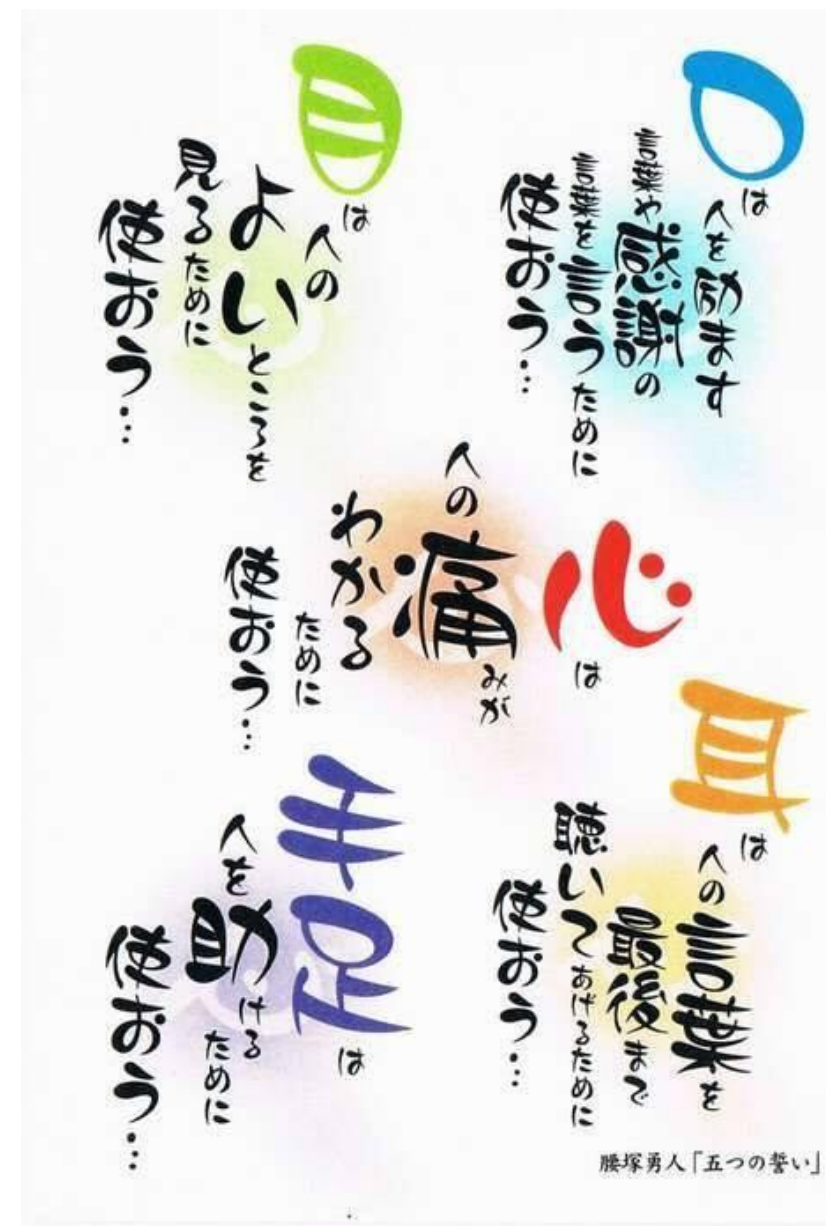
発表会、運動会、合唱祭とたくさんの行事を経験した子どもたち。初めて行う事や人前に出る事は緊張して不安になるのはみんな同じ。そんな時、子どもたちが「もっとこうしたら良くなると思うよ」「明日もみんなでやってみよう」「昨日よりも上手くできたね」と声を掛け合いながら協力して取り組めた事で、心が励まされ自信に繋がり緊張や不安を乗り越えることができました。一生懸命取り組む姿や行動が周りにいる友達にも連鎖して「励ます」に繋がっているのだと実感しました。これからのどんな事にも失敗を恐れずに挑戦し、励まし合うことで乗り越えられる経験をたくさんしてもらいたいと思います。

<ぱんだ組>

「ノンタン がんばるもん」を読み、励ますってどんな事なのかを、伝えながら、皆で考えました。最初は励ますの意味が難しかった子ども達でしたが、何度か読んでいくと、「がんばれ！っていつてもらったから、ちゅうしゃができたんだね」「みみがなあって、よかった」「また、あそべるね」等、感じた事を言葉で表現し、なんだか、皆の顔も嬉しそうでした。これからの、友達同士で手伝い、協力し合いながら、思いやりの心で過ごしていきたいと思います。

5つの誓い

5つの誓いを心に留めていられたら、温かい気持ちで過ごせそうですね♡
優しい言葉と、思いやりの行動に溢れる毎日が送れますように、…



藤塚勇人「五つの誓い」

